

2011年3月期 (平成23年3月期)

第2四半期決算経営報告

PART - 1. 第2四半期決算 概要

PART - 2. 「対応強化施策」の進捗状況

2010年11月16日
三菱製紙株式会社

2011年3月期第2四半期 決算実績

決算ハイライト <連結>



(単位: 億円 %)

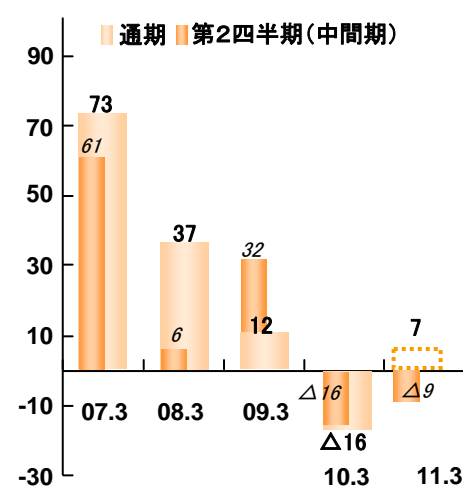
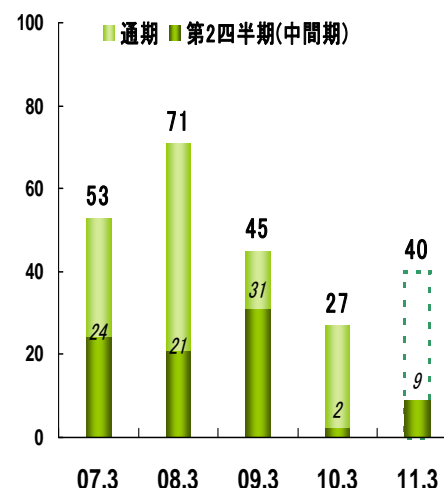
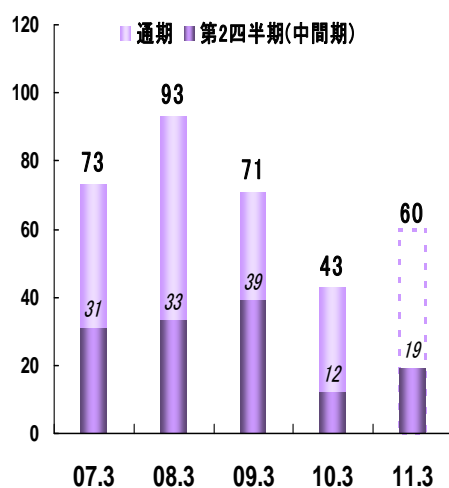
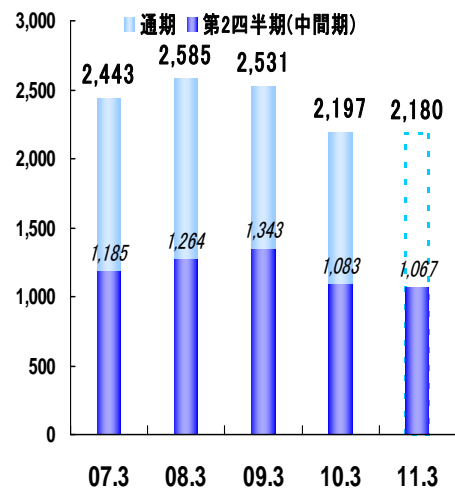
	2010年3月期 第2四半期累計期間		2011年3月期 第2四半期累計期間		前年同期比	
	金額	売上高利益率	金額	売上高利益率	金額	増減率
売上高	1,083	—	1,067	—	▲16	▲1.5
営業利益	12	1.1	19	1.7	7	53.9
経常利益	2	0.2	9	0.8	7	254.6
純利益	▲16	▲1.5	▲9	▲0.9	7	—

売上高

営業利益

経常利益

純利益



事業の種類別セグメント情報 <連結>



(単位:億円 %)

		2010年3月期 第2四半期累計期間	2011年3月期 第2四半期累計期間	増減額	増減率
売上高	紙パルプ	889	894	5	0.6
	I&D	247	247	▲0	▲0.3
	その他	103	92	▲11	▲10.8
	消去	▲156	▲166	▲10	—
	合計	1,083	1,067	▲16	▲1.5
営業利益	紙パルプ	17	15	▲2	▲14.4
	I&D	▲8	1	9	—
	その他	3	3	0	▲8.2
	消去	0	0	0	—
	合計	12	19	7	53.9

注:前第2四半期のセグメントは、参考に当期のセグメントに合わせて試算した数値です。

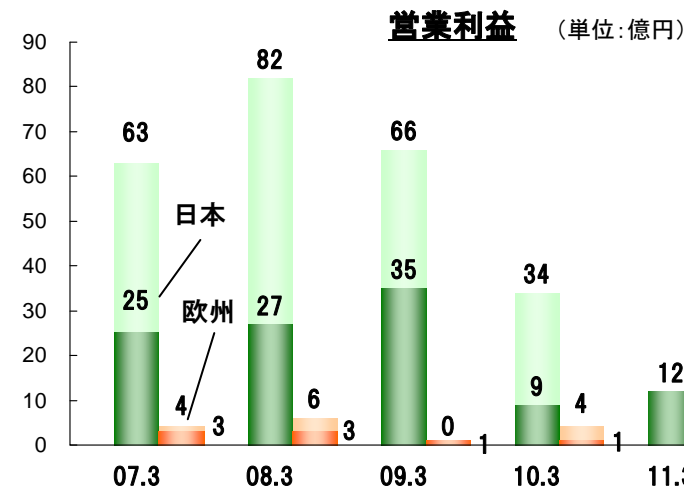
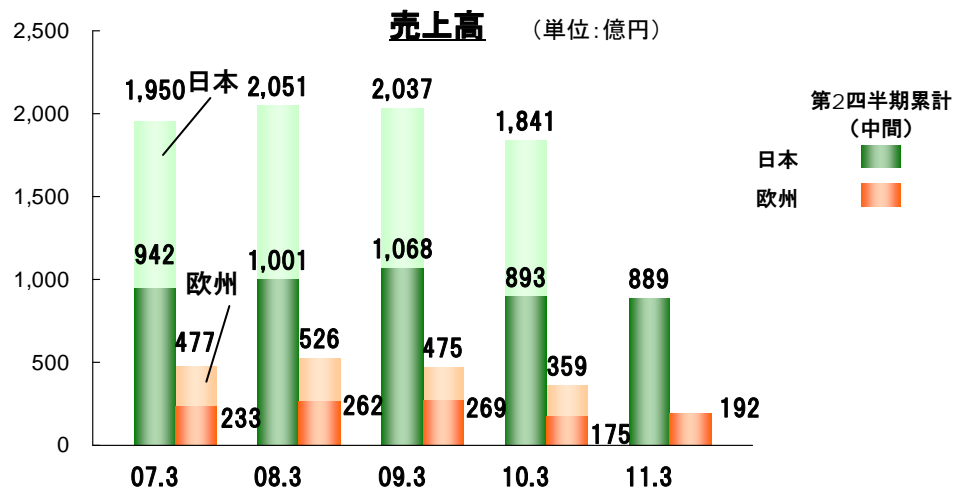
所在地別セグメント情報 <連結>



(単位:億円 %)

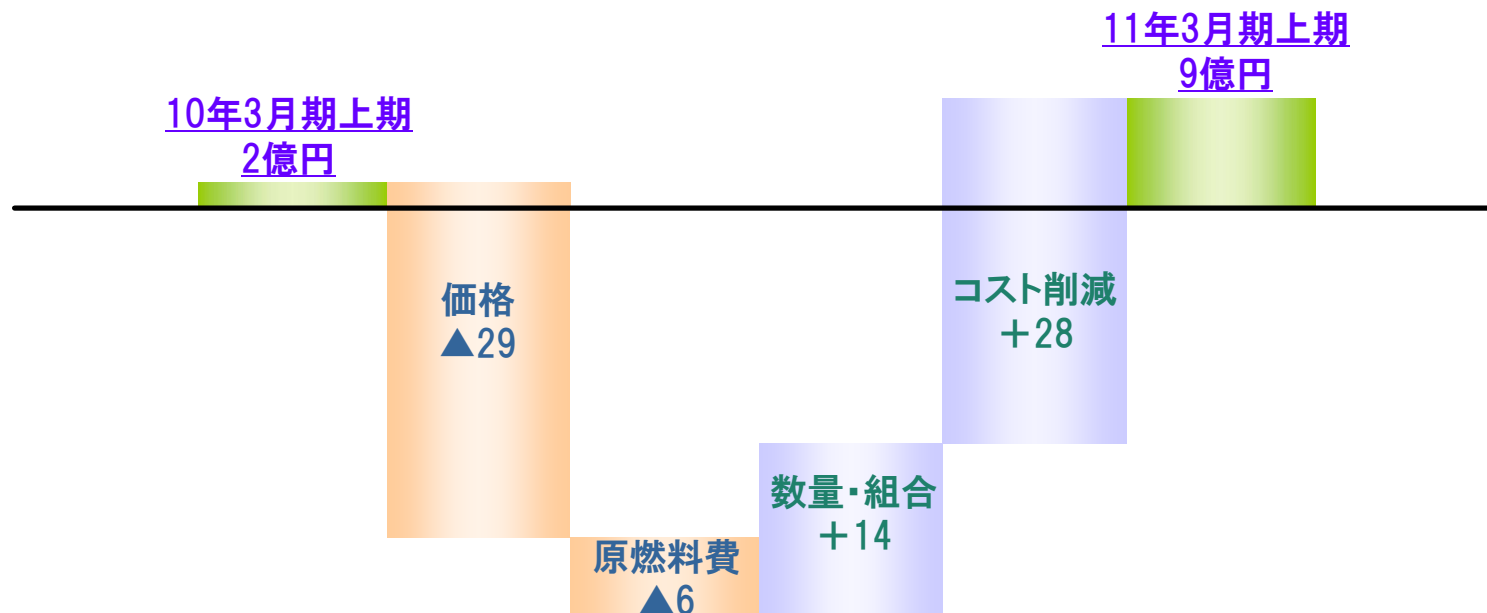
		2010年3月期 第2四半期累計期間	2011年3月期 第2四半期累計期間	増減額	増減率
売上高	日本	893	889	▲4	▲0.5
	欧州	175	192	17	9.4
	米国	37	36	▲1	▲3.2
	消去	▲22	▲50	▲28	—
	合計	1,083	1,067	▲16	▲1.5
営業利益	日本	9	12	3	34.6
	欧州	1	4	3	365.0
	米国	1	1	0	▲37.9
	消去	1	2	1	—
	合計	12	19	7	53.9

注:当第2四半期のセグメントは、参考に従来の所在地別セグメントに合わせて試算した数値です。



經常利益增減要因 <連結>

2011.3期第2四半期累計期間



貸借対照表 <連結>

(単位:億円 %)

	2010年3月末		2010年9月末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	金額
資産合計	2,821	100.0	2,668	100.0	▲153
流動資産	1,105	39.2	1,094	41.0	▲11
固定資産	1,716	60.8	1,574	59.0	▲142
有形固定資産	1,294	45.9	1,230	46.1	▲64
無形固定資産	10	0.3	7	0.3	▲3
投資その他の資産	412	14.6	337	12.6	▲75
負債合計	2,134	75.6	2,022	75.8	▲112
流動負債	1,442	51.1	1,374	51.5	▲68
固定負債	692	24.5	648	24.3	▲44
純資産	687	24.4	646	24.2	▲41
有利子負債	1,616	—	1,514	—	▲102

キャッシュ・フロー計算書 <連結>



(単位:億円)

	2010年3月期 第2四半期 累計期間	2011年3月期 第2四半期 累計期間	増減
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	42	78	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲66	▲0	66
財務活動によるキャッシュ・フロー	22	▲82	▲104
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	▲2	▲2
現金及び現金同等物の増減額	▲2	▲6	▲4
現金及び現金同等物の期首残高	35	70	35
現金及び現金同等物の期末残高	33	64	31

通期業績予想

通期業績予想 < 連結・上上・下下・通期比較 >



(単位: 億円 %)

	2010年3月期			2011年3月期			増減					
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期		下期(予想)		通期(予想)	
							金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
売上高	1,083	1,114	2,197	1,067	1,113	2,180	▲16	▲1.5	▲1	▲0.1	▲17	▲0.8
紙パルプ	889	926	1,815	894	936	1,830	5	0.6	10	1.1	15	0.8
I&D	247	251	498	247	253	500	▲0	▲0.3	2	1.2	2	0.5
その他	103	88	191	92	88	180	▲11	▲10.8	0	0.0	▲11	▲5.8
消去	▲156	▲151	▲307	▲166	▲164	▲330	▲10	—	▲13	—	▲23	—
営業利益	12	31	43	19	41	60	7	53.9	10	36.0	17	41.1
経常利益	2	25	27	9	31	40	7	254.6	6	30.0	13	50.4
当期純利益	▲16	0	▲16	▲9	16	7	7	—	16	—	23	—

注: 2010年3月期の上期・下期・通期実績のセグメントは、参考に当期のセグメントに合わせて試算した数値です。

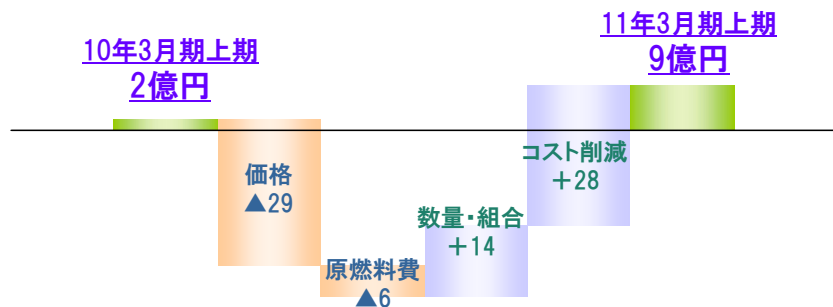
下期予想の前提: 1\$ = 85円、ドバイ原油相場1バレル = \$75

経常利益予想 増減要因

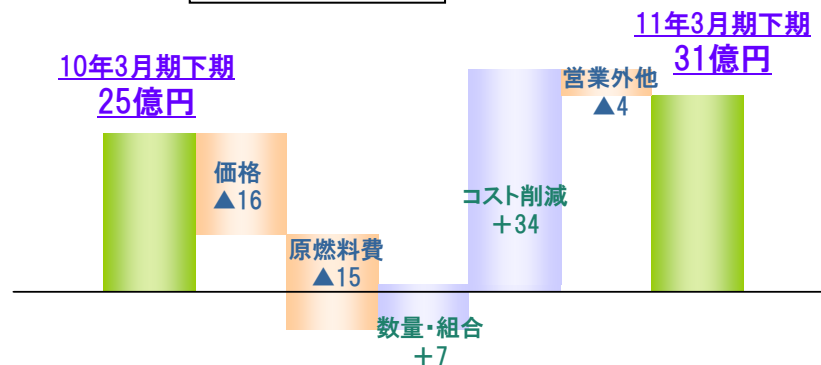
< 連結・上上・下下・通期比較 >



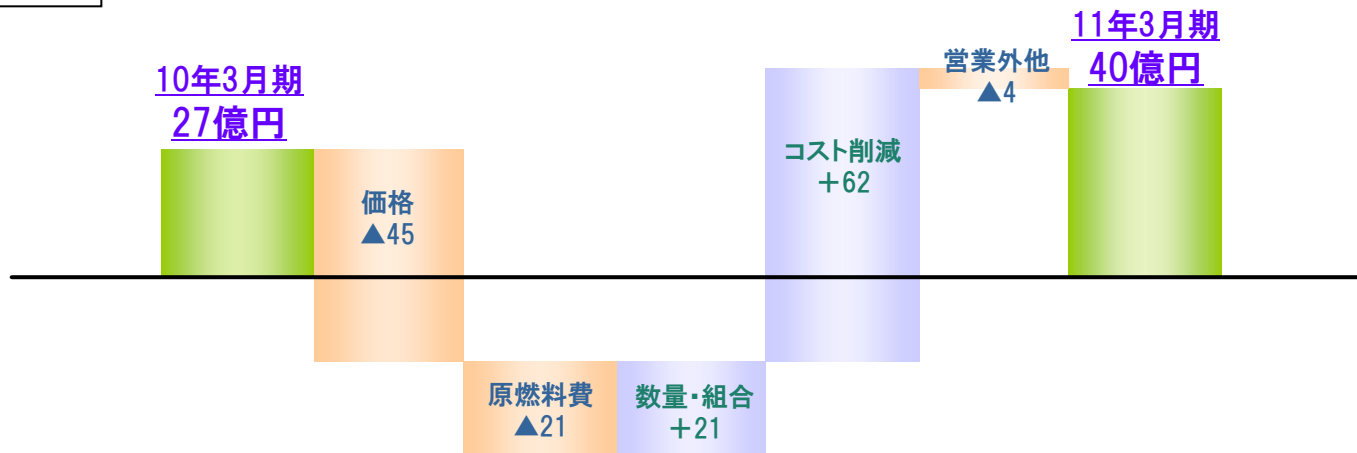
上期実績比較



下期予想比較



通期予想比較



	2010年3月期 第2四半期累計期間	2011年3月期 第2四半期累計期間	2011年3月期(予想)
有利子負債	1,675億円	1,514億円	1,500億円
減価償却費	65億円	62億円	122億円
設備投資額	55億円	19億円	35億円
従業員数	4,632人	4,389人	4,350人

参考情報 <単体>



(単位: 千t・億円)

品種内訳	2010年3月期				2011年3月期			
	第2四半期累計期間		通期		第2四半期累計期間		通期予想	
	販売数量	販売金額	販売数量	販売金額	販売数量	販売金額	販売数量	販売金額
非塗工紙(上級紙他)	79	98	164	198	85	97	175	198
塗工紙 (コーテッド紙他)	246	328	527	683	267	332	550	682
情報用紙 (感熱紙・ノーカーボン紙他)	40	93	80	186	41	93	81	183
板紙	22	27	46	55	23	27	48	57
その他 (薄葉紙・家庭紙他)	8	43	16	93	8	46	17	100

	2010年3月期 第2四半期累計期間	2011年3月期 第2四半期累計期間
為替レート	95.27円/US \$	88.85円/US \$
原木チップ使用数量 (輸入材比率)	500千t (67%)	572千t (67%)
購入パルプ使用数量 (購入比率)	23千t (7%)	21千t (6%)
重油使用量	19千kl	18千kl
石炭使用量	131千t	139千t
買電使用量 (自家発電比率)	130MWH (79%)	127MWH (80%)

注: 原燃料使用数量には北上ハイテクペーパー分を含みます。

対応強化施策の進捗状況

2010年11月16日
取締役社長 鈴木邦夫

7つの「対応強化施策」

(2009. 10. 30公表)

【2010、2011年度】
09年度後半から取り組み開始

『規模』から
『コスト競争力』『付加価値』へ

1 効率的生産体制

- 情報用紙拠点再配置
高砂12号抄紙機休止
(原紙移管、パルプ購入減)
KHP5号RC機休止
I&D要員再配置

2 徹底したコストダウン

- I&D極限コスト構造
- 八戸、高砂コスト削減
- 洋紙物流コスト削減

3 本社費用大幅削減

- 研究体制合理化
- 本社関連会社コスト削減

4 高付加価値化

- デジタルプリント対応用紙
- 各種新規アート紙開発展開
- FSC認証紙、間伐材利用

5 新規商品展開

- サーマルディジプレート拡販
- 新規IJメディア世界拡販
- 新機能不織布開発拡大

6 海外事業安定化・活用

- ドイツ リストラクチャリング
- 中国事業拠点活用拡大

7 アライアンス効果発現

- 富士フィルム提携
- 王子製紙情報用紙提携

対応強化施策の効果

効果:億円

	生産体制再構築	コストダウン推進	海外事業	要員合理化	その他 (エネルギー、償却費等)	計
2011年3月期(146期) 当初目標	5	11	6	11	10	43
上期実績	2	8	6	9	3	28
下期予想	5	17	2	3	7	34
通期予想	7	25	8	12	10	62

施策効果は順調に発現中、下振れ要因をコスト削減でカバー。来期は当初目標通り推進。

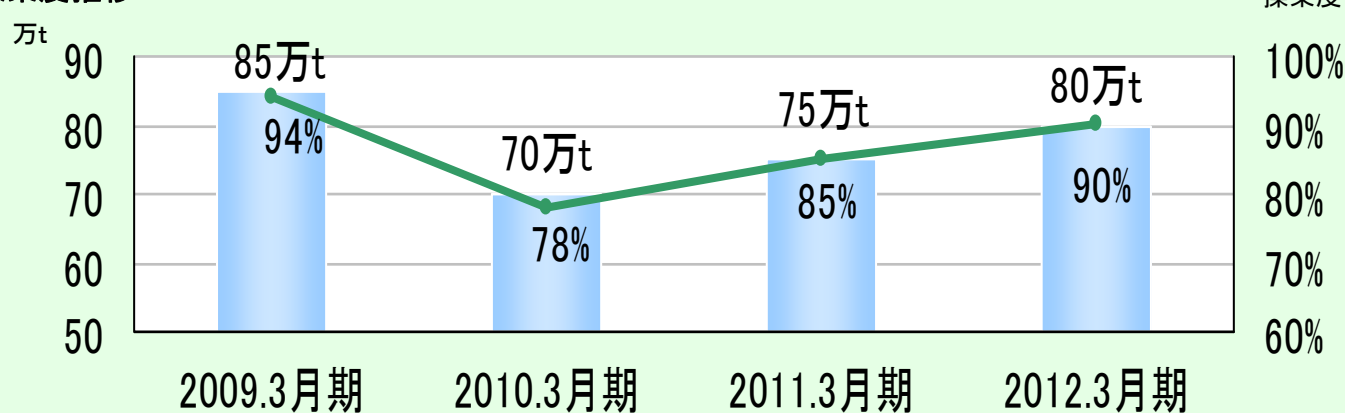
2012年3月期(147期) 当初目標	4	12	3	6		25
------------------------	---	----	---	---	--	----

生産体制再構築・提携

- 情報用紙原紙の移管が順調に進捗、高砂工場計画通り12号抄紙機停機が完了
- 八戸工場：操業度向上によるエネルギーコスト低減
- 高砂工場：情報用紙原紙コスト低減
- 王子製紙と情報用紙の提携を展開中

八戸工場

—操業度推移—



情報用紙原紙移管・環境付加価値製品増等により操業度90%へ

生産体制再構築・提携

- 北上ハイテクペーパー
新8号RC機の投入と5号RC機の休止(2010年5月)により、計3台の多機能RC機に集約
- エムピー ファレス(MPJ / メキシコ)
IJ用紙に加え、印刷感材製品の現地仕上拡大
- 富士フィルムとの写真用原紙等の提携は引き続き展開中

要員再配置・コストダウン

- I&Dカンパニーの要員削減
2009年3月末比 約160名減 10億円のコスト削減効果

機能材開発事業の展開

- アジアを中心とした新興国への拡販
フィルター・不織布事業 約10%売上増
- 中国珠海のフィルター加工子会社はフル生産

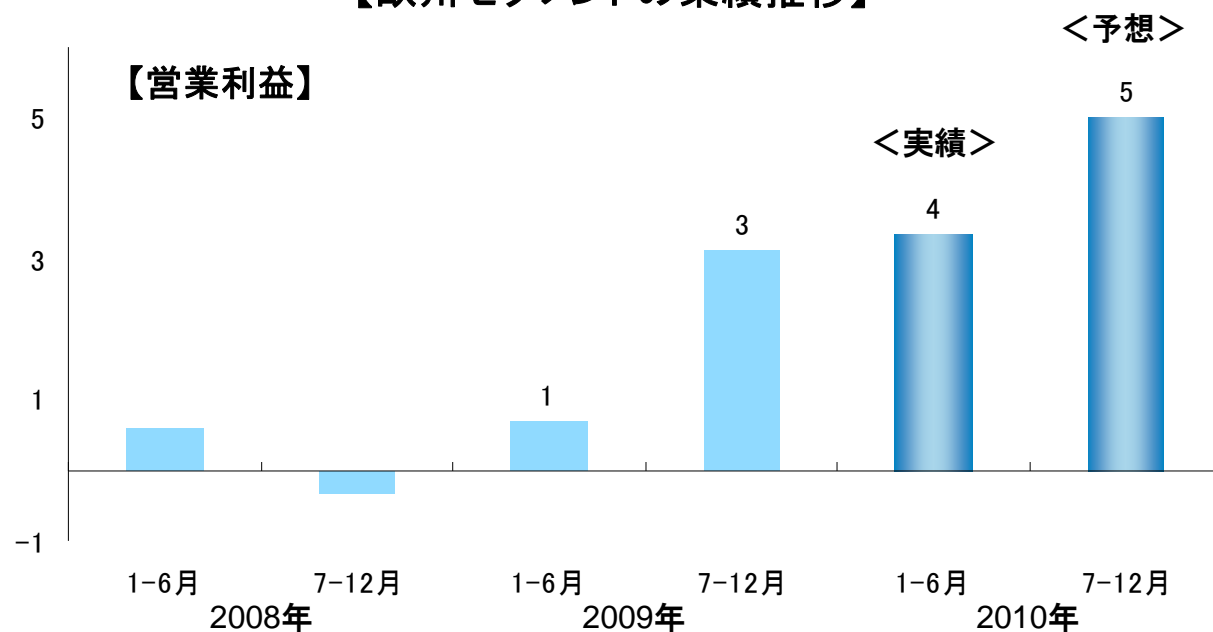
ドイツでのリストラチャリング

—2009年までのリストラ—

- ・製造マシンの統廃合(抄紙機一部休止・全キャストコーター休止)
- ・120名の人員削減
- ・生產品種見直し、プロダクトミックス改善

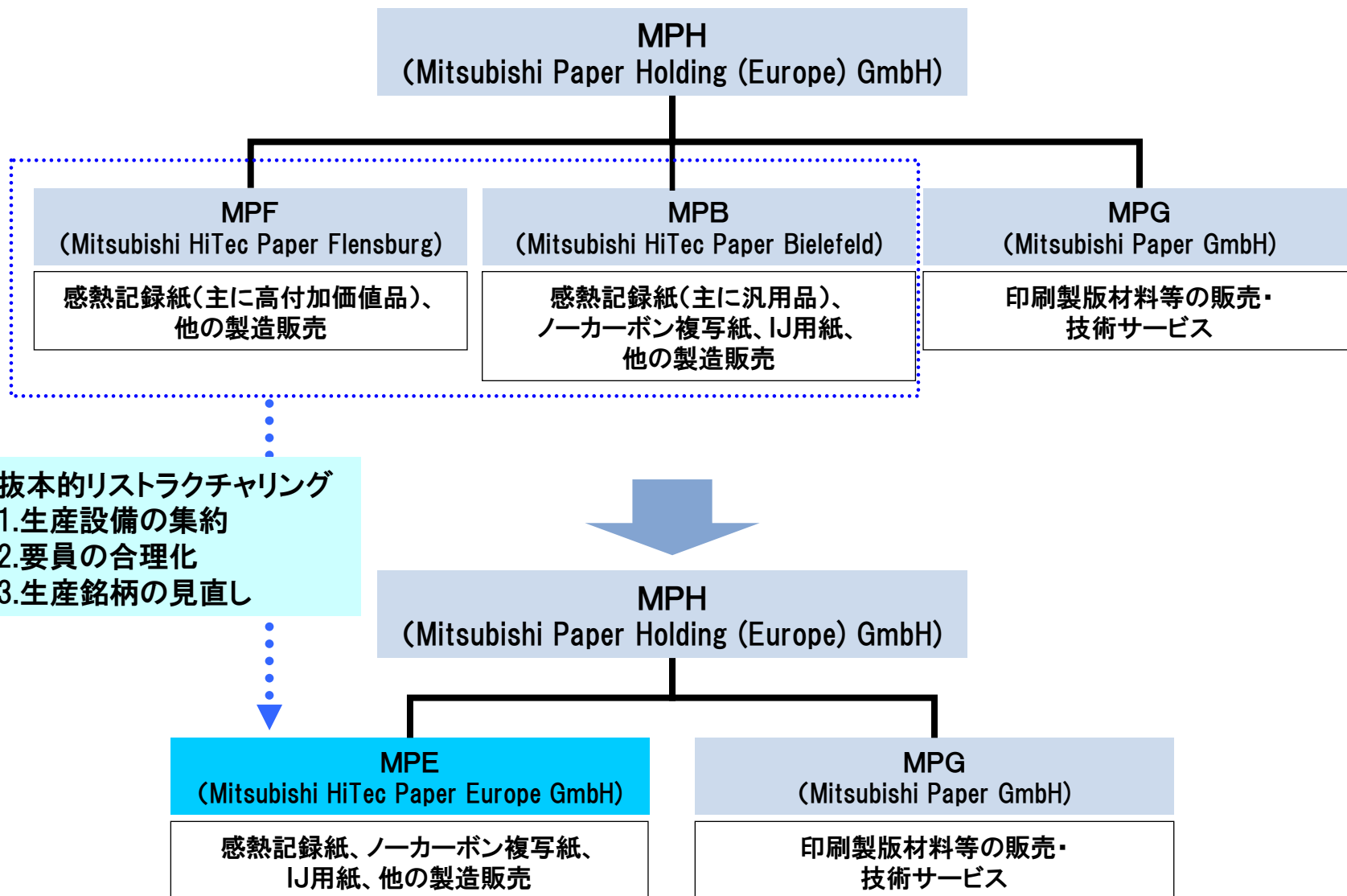
単位: 億円

【欧州セグメントの業績推移】



施策の効果により黒字体質確立
採算改善 約5億円(2009年比)

ドイツでの連結子会社の再編



印刷・情報用紙の高付加価値化推進

- デジタルプリント対応用紙の市場展開
将来の商業印刷分野への展開を視野に入れた商品開発
- 付加価値(環境性・アート性など)を備えた商品の開発と拡販
FSC森林認証紙、間伐材利用紙、高級印刷用紙etc.



印刷物におけるFSCロゴマーク表示例



各種デジタルプリント用紙



間伐材を利用した紙
(森の町内会コピー用紙)



FSC森林認証紙採用例

新事業開発 ～生産増強～

- 成長分野である機能性不織布事業への戦略投資
- 中国珠海でのフィルター加工増強・他事業展開の検討

インクジェット ～高収益体質への転換～

- 高付加価値インクジェット用紙の拡販
パール光沢IJ、ディスプレイ用フィルムIJ、両面IJ
- 高級フォトブック需要の掘り起こし

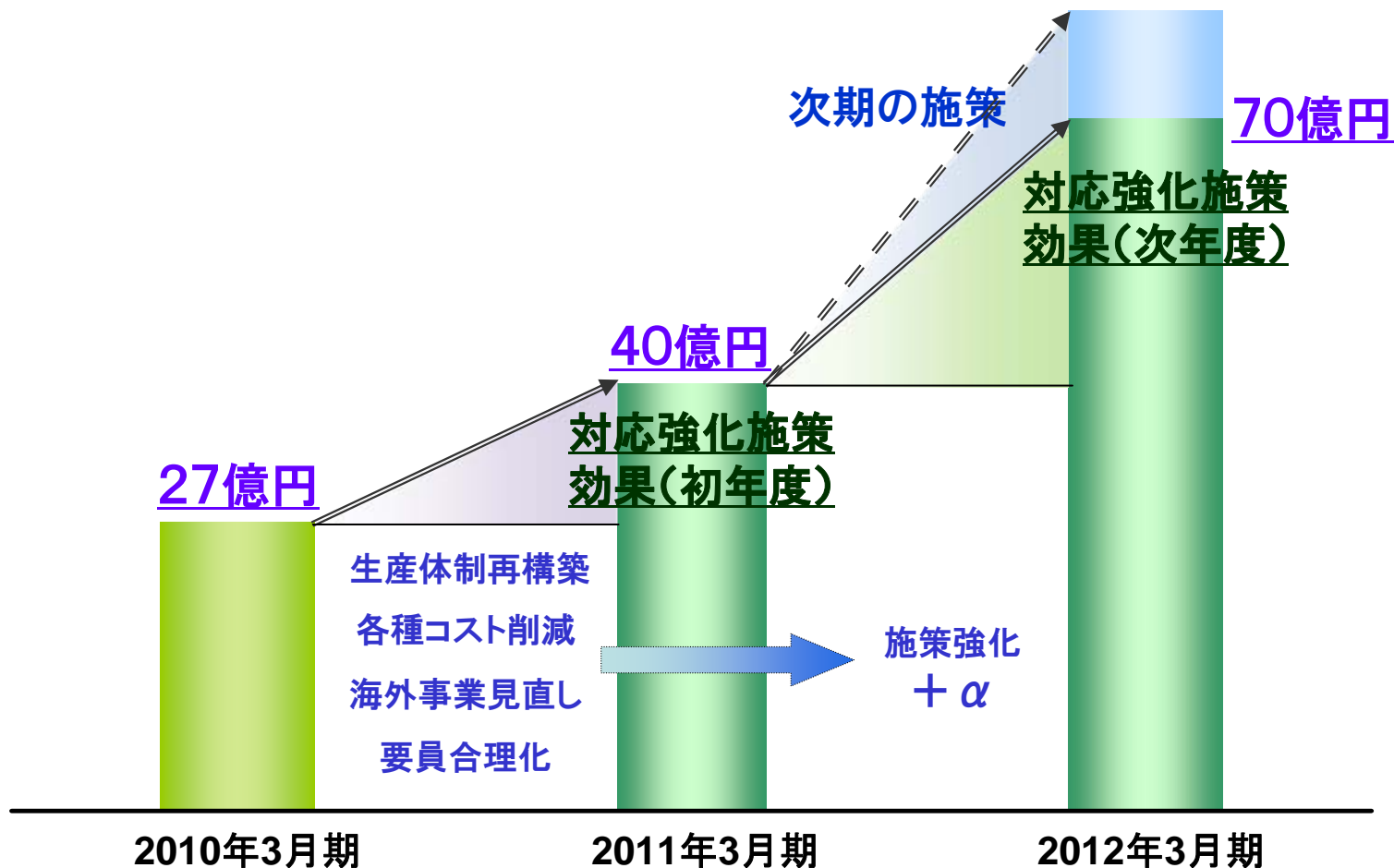
印刷製版材料 ～新製品の拡販～

- TDPの拡販 と IDP、PDPの新規導入

TDP=サーマルディジプレート（感熱方式デジタル製版材料）

IDP=インクジェットディジプレート（IJ方式デジタル製版材料）

PDP=ポリマーディジプレート（光重合方式デジタル製版材料）



本資料における予想数値や業績見通しに関する記述は、現時点における将来の経済環境予測や入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の実際の決算・業績数値とは異なる可能性があります。